

## 岡山県備前市で発見されたムヨウラン (ラン科)

木村陽介<sup>1</sup>・位田真弓<sup>1</sup>・池田 博<sup>1,2</sup>・狩山俊悟<sup>3</sup>

Discovery of *Lecanorchis japonica* Blume (Orchidaceae) from Bizen City, Okayama Prefecture, Japan

Yosuke KIMURA<sup>1</sup>, Mayumi IDA<sup>1</sup>, Hiroshi IKEDA<sup>1,2</sup>  
and Shungo KARIYAMA<sup>3</sup>

**Abstract:** *Lecanorchis japonica* (Orchidaceae), having rarely been collected these five decades in Okayama Prefecture though endemic to Japan (Honshu, Shikoku, and Kyushu), is designated as a prefectural endangered species. We collected a specimen of this rare saprophytic orchid from Bizen City in June 2005. It grew on the floor of a *Castanopsis cuspidata* Schottky and *Quercus glauca* Blume broad-leaved evergreen forest.

ムヨウラン (*Lecanorchis japonica* Blume) はラン科ムヨウラン属の葉緑体を持たない腐生植物で、日本特産とされ、本州・四国・九州に分布する (北村ほか, 1964; 里見, 1982)。「岡山県版レッドデータブック」(岡山県, 2003a)によると、「岡山県では、中部の高梁市で1988年に採集された標本と、南部の備前市で1985年に採集された標本がある。いずれも常緑広葉樹林下に生育していたが、現状は不明である。」とされており、近年の採集記録はない。

2005年6月17日、著者のうち木村と位田が岡山県備前市の社叢林において植生調査をおこなった際、シイ・アラカシ林の林床にムヨウランが生育しているのを発見した(図1)。周辺を探したところ、そのほかに4個体を発見した。それらのほとんどの個体にはアブラムシまたはカイガラムシの類が取り付いて、白い粉を吹いていた(図1a, b)。翌年の2006年6月に同じ場所を訪れたところ、立ち枯れになった1個体を発見したが、それも白い粉を吹き、果実は

熟していなかった。

岡山県内でのムヨウランの採集記録を調べるため、倉敷市自然史博物館(KURA)と岡山大学資源生物学研究所(RIB)収蔵の標本を調べたところ、1954年に高梁市で採集された標本と、1998年に和気町で採集された標本を見出した。

岡山県産ムヨウラン属植物としては、ムヨウランのほか、ホクリクムヨウラン (*L. hokurikuensis* Masam.) とクロムヨウラン (*L. nigricans* Honda) が分布しているとされる(岡山県, 2003b)。ムヨウランは、花は汚白色から淡黄褐色で、唇弁の先はわずかに3裂するのに対し、ホクリクムヨウランは花は紫色から暗紫色で唇弁の先は分裂しない、クロムヨウランは花はホクリクムヨウラン同様、紫色から暗紫色、唇弁の先は明らかに3裂する、といった特徴をもつ(北村ほか, 1964)。今回採集された標本は、花の色や唇弁の先の状態から、ムヨウランと同定された(図1c)。上記3種は、これまで岡山県

1 〒700-0005 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学大学院総合情報研究科生物地球システム専攻 Department of Biosphere-Geosphere System Science, Graduate School of Informatics, Okayama University of Science

2 〒700-0005 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科 Department of Biosphere-Geosphere System Science, Faculty of Informatics, Okayama University of Science

3 〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館 Kurashiki Museum of Natural History



図1. 岡山県備前市産ムヨウラン (*Lecanorchis japonica* Blume). a: 生育状況. b: 花序. c: 花の拡大.

で採集された記録は少なく、ともに「絶滅危惧種」とされている（岡山県2003a）。ムヨウラン属植物は常緑広葉樹林の適湿な林床に生育する腐生植物であることから、その保護・保全には、今回採集したようなシイ・カシ林といった照葉樹林を広範囲に維持することが必要と考えられる。

#### 確認標本

岡山県. 備前市, 10 m alt. (Y. Kimura & M. Ida 05061700, 17 June 2005, OKAY). 和気郡和気町, 40 - 60 m alt. (S. Kariyama 40438, 4 July 1998, KURA). 高梁市臥牛山 (難波早苗 s.n., 5 June 1954, RIB).

#### 謝辞

岡山大学資源科学研究所の榎本敬助教授には、ムヨウランの標本の閲覧に便宜をはかっていただいた。ここに記して感謝する。

#### 引用文献

- 北村四郎・村田 源・小山鐵夫(1964)ムヨウラン属.  
「原色日本植物図鑑草本編Ⅲ」: 28. 保育社, 大阪.  
岡山県生活環境部自然環境課・(財)岡山県環境保全事業団 (2003a)「岡山県版レッドデータブック—絶滅のおそれのある野生生物—」. 465 pp. (財)岡山県環境保全事業団, 岡山.  
岡山県生活環境部自然環境課・(財)岡山県環境保全事業団 (2003b)「岡山県野生生物目録」. 397 pp. (財)岡山県環境保全事業団, 岡山.  
里見信生(1982)ラン科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫編, 「日本の野生植物 I 草本 単子葉類」: 187-235. 平凡社, 東京.

(2006年10月26日受理)